au

MOTOROLA

RAZR™ IS12M

セーフティガイド

ごあいさつ

このたびは、MOTOROLA RAZR™ IS12M(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『セーフティガイド』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
本書では、設定ガイド、クイックスタートガイド、セーフティガイド、取扱説明書(詳細版)を総称して取扱説明書と表記します。

- 最新情報については、auホームページをご確認いただくか、auショップまたはお客さまセンターへお問い合わせください。

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動させると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通信品質を維持し続けます。したがって、通信中にこの極限を超えてしまうと、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘匿機能を備えております。)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、micro au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

こんな場所では、使用禁止!

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
◎取扱説明書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※ 本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
　発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
　輸入元:モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
　製造元:Motorola Mobility, Inc.

注意: 取扱説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

注意: 取扱説明書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

注意: 取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

注意: 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2　傷害:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3　物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■本体、充電用機器、micro au ICカード、周辺機器共通

⚠危険 **必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
本製品専用周辺機器
・ACアダプタ(SPN5701A)
・microUSBケーブル(MOI11HUA)
・auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、コタツの中、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止

microUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子などをショートさせないでください。また、microUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子などに導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となります。

禁止

金属製のアクセサリーをご使用になる場合は、充電の際にmicroUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止 microUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子などに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

水ぬれ禁止 水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水漏れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

禁止 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

禁止 外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプタに長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

禁止 コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

指示 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、ACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

指示 イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示	イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
指示	充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示	電池には寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
禁止	航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

指示

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。(影響を与える機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

禁止

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

禁止

カメラライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、カメラライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてカメラライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

指示

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース(前面)	プラスチック	塗装／NCVM(シャドーブラック)、UV塗装(グレイシアホワイト)
ロゴプレート	陽極酸化アルミ	ダイヤモンドカットスピン
ディスプレイパネル	ガラス	－
外装ケース(中層上部)	プラスチック	塗装／NCVM
外装ケース(側面)	プラスチック	NCVM(シャドーブラック)、UV塗装(グレイシアホワイト)
外装ケース(背面板)	ケブラー	プリント仕上げ
背面ロゴ	ポリカーボネート	NCVM
電源キー	陽極酸化アルミ	ダイヤモンドカットスピン
音量キー	プラスチック	－
カメラリング	プラスチック	NCVM
カメラレンズ	アクリル樹脂	プリント仕上げ
背面カメラパネル	ポリカーボネート／アクリル樹脂	非導電性光学薄膜
スロットカバー	プラスチック	NCVM(シャドーブラック)、UV塗装(グレイシアホワイト)

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止

microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

指示

通常はmicro au ICカードスロットやmicroSDメモリカードスロットのカバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

指示

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■充電用機器について

⚠警告 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
・ACアダプタ：AC100～240V
ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。海外で充電する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

指示

ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだACアダプタやゆるんだコンセントは使用しないでください。

禁止

microUSBケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだmicroUSBケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、充電用機器のプラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、充電用機器の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

指示 車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

プラグをコンセントから抜く 長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

指示 充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

プラグをコンセントから抜く 充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。microUSBケーブルを引っ張るとmicroUSBケーブルが損傷するおそれがあります。

■micro au ICカードについて

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にmicro au ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示　micro au ICカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

指示　micro au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止　micro au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止　micro au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止　micro au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止　micro au ICカードのIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止　micro au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁止 micro au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

水ぬれ禁止 micro au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。

禁止 micro au ICカードのIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

禁止 micro au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止 micro au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示 micro au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

■ステレオヘッドセットについて

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示 ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

禁止 ケーブルを本体に巻き付けて使用しないでください。電波の感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。

禁止 ケーブルを引っ張って抜かないようにしてください。また、ケーブルを持って本体を吊り上げないでください。端子が破損するおそれがあります。

指示
ステレオヘッドセットのプラグにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

指示
ステレオヘッドセットのプラグは本体のステレオイヤホン端子に対して平行になるように抜き差ししてください。

指示
皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。ステレオヘッドセットで使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用素材	表面加工
ステレオプラグ	スチール	ー
ケーブル	エラストマー、ポリカーボネート／ABS樹脂、ゴム	つや消し塗装処理
イヤホン部	シリコーンゴム、ポリカーボネート／ABS樹脂	光沢塗装処理
イヤホン部ロゴ	メタル	光沢クロムめっき
スピーカー	メタル	メッシュ加工

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、充電用機器、micro au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器をmicroUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- microUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子などをときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてmicroUSB端子やHDMIマイクロ端子およびステレオイヤホン端子などを変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ･手袋をしたままでの操作
  ･爪の先での操作
  ･異物を操作面に乗せたままでの操作
  ･保護シートやシールなどを貼っての操作
  ･ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  ･濡れた指または汗で湿った指での操作
  ･水中での操作

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証･認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

  確認方法: ホーム画面で[≡]→[設定]→[端末情報]→[法的情報]→[認証]

  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が上記の方法で確認できます。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB端子にmicroUSBケーブルを接続するときは、microUSB端子に対してmicroUSBケーブルのコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- microUSB端子にmicroUSBケーブルを接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード(市販品)またはmicroSDHCメモリカード(市販品)以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。

- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品の電池は内蔵型です。電池をご自分で交換しようとしないでください。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターにお問い合わせください。
- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池には寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- 接続したmicroUSBケーブルを、ACアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- ACアダプタの電源プラグやmicroUSBケーブルとの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■micro au ICカードについて

- micro au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

- micro au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、micro au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- 使用中、micro au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- micro au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- micro au ICカードにシールなどを貼らないでください。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■音楽／動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力にわるい影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータの複製・改変・編集などをする場合、個人で楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断でデータを使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像などを転送することはできません。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気･故障などの不測の要因や、修理･誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

●暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

●ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックの認証設定などの設定／解除する場合
初期値	なし

●PINコード

使用例	第三者によるmicro au ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

●Eメールのフォルダロック用パスワード

使用例	Eメールの「フォルダロック」を利用する場合
初期値	なし

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

・画面ロック
・Eメールのフォルダロック

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第3者によるmicro au ICカードの無断利用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、ホーム画面→[≡]→[設定]→[セキュリティと位置情報]→[UIMカードロックの設定]→[UIMカードをロック]で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードをロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4〜8桁のお好きな番号に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、micro au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、ホーム画面→[≡]→[設定]→[セキュリティと位置情報]→[UIMカードロックの設定]→[UIM PINの変更]で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

※「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

Bluetooth® /無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1/XX8/DS4/OF4

- Bluetooth®機能:2.4 FH1/XX8
  本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4 DS4/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

・通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

Bluetooth®ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

・本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

・航空機内での使用はできません。無線LAN(Wi-Fi®)対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

無線LAN（Wi-Fi®）機能の5GHz帯使用チャンネルについて

本製品は5GHzの周波数帯においてW52、W53、W56の3種類のチャンネルを利用できます。
◎W52、W53は電波法により屋外での使用が禁じられています。

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
  また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（~@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（~@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）

※無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中、無操作時間が続いてもディスプレイの表示が消えなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、取扱説明書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種MOTOROLA RAZR™ IS12Mの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は

使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.595W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html

○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（2011年3月現在）

Radio Frequency (RF) Energy

Exposure to RF Energy

Your mobile device contains a transmitter and receiver. When it is ON, it receives and transmits RF energy. When you communicate with your mobile device, the system handling your call controls the power level at which your mobile device transmits.

Your mobile device is designed to comply with local regulatory requirements in your country concerning exposure of human beings to RF energy.

RF Energy Operational Precautions

For optimal mobile device performance, and to be sure that human exposure to RF energy does not exceed the guidelines set forth in the relevant standards, always follow these instructions and precautions:

- When placing or receiving a phone call, hold your mobile device just like you would a landline phone.
- If you wear the mobile device on your body, always place the mobile device in a Motorola-supplied or approved clip, holder, holster, case, or body harness. If you do not use a body-worn accessory supplied or approved by Motorola, keep the mobile device and its antenna at least 2.5 cm (1 inch) from your body when transmitting.
- Using accessories not supplied or approved by Motorola may cause your mobile device to exceed RF energy exposure guidelines. For a list of Motorola-supplied or approved accessories, visit our Web site at: **www.motorola.com**.

RF Energy Interference/Compatibility

Nearly every electronic device is subject to RF energy interference from external sources if inadequately shielded, designed, or otherwise configured for RF energy compatibility. In some circumstances, your mobile device may cause interference with other devices.

Specific Absorption Rate (ICNIRP)

YOUR MOBILE DEVICE MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.

Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. The highest SAR values under the ICNIRP guidelines for your device model are listed below:

Head SAR	CDMA 800/2100, Wi-Fi, Bluetooth	0.595 W/kg
Body-worn SAR	CDMA 800/2100, Wi-Fi, Bluetooth	0.44 W/kg

During use, the actual SAR values for your device are usually well below the values stated. This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out using an approved accessory or at a separation distance of 2.5 cm (1 inch). To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be in an approved accessory or positioned at least 2.5 cm (1 inch) away from the body. If you are not using an approved accessory, ensure that whatever product is used is free of any metal and that it positions the phone at least 2.5 cm (1 inch) away from the body.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They recommend that if you are interested in further reducing your exposure then you can easily do so by limiting your usage or simply using a hands-free kit to keep the device away from the head and body.

Additional information can be found at **www.who.int/emf** (World Health Organization) or **www.motorola.com/rfhealth** (Motorola Mobility, Inc.).

Information from the World Health Organization

"A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phone pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established for mobile phone use."

Source: WHO Fact Sheet 193

Further information: **http://www.who.int/emf**

European Union Directives Conformance Statement

The following CE compliance information is applicable to Motorola mobile devices that carry one of the following CE marks:

The CE mark demonstrates compliance for purposes of sale and use within the European Union and regions that recognize EU authorization. If your product does not have a CE mark, you should consult with your carrier before using in those areas.

CE 0168

CE 0168 ⓘ [Only Indoor Use Allowed In France for Bluetooth and/or Wi-Fi]

Hereby, Motorola declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

You can view your product's Declaration of Conformity (DoC) to Directive 1999/5/EC (to R&TTE Directive) at **www.motorola.com/rtte**. To find your DoC, enter the Product Approval Number from your product's label in the "Search" bar on the website.

FCC Notice to Users

The following statement applies to all products that bear the FCC logo on the product label.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. See 47 CFR Sec. 15.105(b). These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See 47 CFR Sec. 15.19(3).

Motorola has not approved any changes or modifications to this device by the user. Any changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment. See 47 CFR Sec. 15.21.

For products that support Wi-Fi 802.11a (as defined in the product specifications available at **www.motorola.com**), the following information applies. This equipment has the capability to operate Wi-Fi in the 5 GHz Unlicensed National Information Infrastructure (U-NII) band. Because this band is shared with MSS (Mobile Satellite Service),

the FCC has restricted such devices to indoor use only (see 47 CFR 15.407(e)). Since wireless hot spots operating in this band have the same restriction, outdoor services are not offered. Nevertheless, please do not operate this device in Wi-Fi mode when outdoors.

Location Services (GPS & AGPS)

The following information is applicable to Motorola mobile devices that provide location based (GPS and/or AGPS) functionality.

Your mobile device may use Global Positioning System (GPS) signals for location-based applications. GPS uses satellites controlled by the U.S. government that are subject to changes implemented in accordance with the Department of Defense policy and the Federal Radio Navigation Plan. These changes may affect the performance of location technology on your mobile device.

Your mobile device may also use Assisted Global Positioning System (AGPS), which obtains information from the cellular network to improve GPS performance. AGPS uses your wireless service provider's network and therefore airtime, data charges, and/or additional charges may apply in accordance with your service plan. Contact your wireless service provider for details.

Your Location

Location-based information includes information that can be used to determine the approximate location of a mobile device. Mobile devices which are connected to a wireless network transmit location-based information. Devices enabled with GPS or AGPS technology also transmit location-based information. Additionally, if you use applications that require location-based information (e.g. driving directions), such applications transmit location-based information. This location-based information may be shared with third parties, including your wireless service provider, applications providers, Motorola, and other third parties providing services.

Emergency Calls

When you make an emergency call, the cellular network may activate the AGPS technology in your mobile device to tell the emergency responders your approximate location.

AGPS has limitations and might not work in your area. Therefore:

- Always tell the emergency responder your location to the best of your ability; and
- Remain on the phone for as long as the emergency responder instructs you.

Navigation

The following information is applicable to Motorola mobile devices that provide navigation features.

When using navigation features, note that mapping information, directions and other navigational data may contain inaccurate or incomplete data. In some countries, complete information may not be available. Therefore, you should visually confirm that the navigational instructions are consistent with what you see. All drivers should pay attention to road conditions, closures, traffic, and all other factors that may impact driving. Always obey posted road signs.

Privacy & Data Security

Motorola understands that privacy and data security are important to everyone. Because some features of your mobile device may affect your privacy or data security, please follow these recommendations to enhance protection of your information:

- **Monitor access**—Keep your mobile device with you and do not leave it where others may have unmonitored access. Use your device's security and lock features, where available.
- **Keep software up to date**—If Motorola or a software/application vendor releases a patch or software fix for your mobile device that updates the device's security, install it as soon as possible.

- **Secure Personal Information**—Your mobile device can store personal information in various locations including your SIM card, memory card, and phone memory. Be sure to remove or clear all personal information before you recycle, return, or give away your device. You can also backup your personal data to transfer to a new device.

  Note: For information on how to backup or wipe data from your mobile device, go to **www.motorola.com/support**
- **Online accounts**—Some mobile devices provide a Motorola online account (such as MOTOBLUR). Go to your account for information on how to manage the account, and how to use security features such as remote wipe and device location (where available).
- **Applications and updates**—Choose your apps and updates carefully, and install from trusted sources only. Some apps can impact your phone's performance and/or have access to private information including account details, call data, location details and network resources.
- **Wireless**—For mobile devices with Wi-Fi features, only connect to trusted Wi-Fi networks. Also, when using your device as a hotspot (where available) use network security. These precautions will help prevent unauthorized access to your device.
- **Location-based information**—Location-based information includes information that can be used to determine the approximate location of a mobile device. Mobile phones which are connected to a wireless network transmit location-based information. Devices enabled with GPS or AGPS technology also transmit location-based information. Additionally, if you use applications that require location-based information (e.g. driving directions), such applications transmit location-based information. This location-based information may be shared with third parties, including your wireless service provider, applications providers, Motorola, and other third parties providing services.

- **Other information your device may transmit**—Your device may also transmit testing and other diagnostic (including location-based) information, and other non-personal information to Motorola or other third-party servers. This information is used to help improve products and services offered by Motorola.

Software Copyright Notice

Motorola products may include copyrighted Motorola and third-party software stored in semiconductor memories or other media. Laws in the United States and other countries preserve for Motorola and third-party software providers certain exclusive rights for copyrighted software, such as the exclusive rights to distribute or reproduce the copyrighted software. Accordingly, any copyrighted software contained in Motorola products may not be modified, reverse-engineered, distributed, or reproduced in any manner to the extent allowed by law. Furthermore, the purchase of Motorola products shall not be deemed to grant either directly or by implication, estoppel, or otherwise, any license under the copyrights, patents, or patent applications of Motorola or any third-party software provider, except for the normal, non-exclusive, royalty-free license to use that arises by operation of law in the sale of a product.

Content Copyright

The unauthorized copying of copyrighted materials is contrary to the provisions of the Copyright Laws of the United States and other countries. This device is intended solely for copying non-copyrighted materials, materials in which you own the copyright, or materials which you are authorized or legally permitted to copy. If you are uncertain about your right to copy any material, please contact your legal advisor.

Open Source Software Information

For instructions on how to obtain a copy of any source code being made publicly available by Motorola related to software used in this Motorola mobile device, you may send your request in writing to the address below. Please make sure that the request includes the model number and the software version number.

MOTOROLA MOBILITY, INC.
OSS Management
600 North US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
USA

The Motorola website **opensource.motorola.com** (in English only) also contains information regarding Motorola's use of open source.

Motorola has created the **opensource.motorola.com** website to serve as a portal for interaction with the software community-at-large.

To view additional information regarding licenses, acknowledgments and required copyright notices for open source packages used in this Motorola mobile device, please press **Menu Key** > **Settings** > **About phone** > **Legal information** > **Open source licenses**. In addition, this Motorola device may include self-contained applications that present supplemental notices for open source packages used in those applications.

Copyright & Trademarks

Motorola Mobility, Inc.
Consumer Advocacy Office
600 N US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
www.motorola.com

Certain features, services and applications are network dependent and may not be available in all areas; additional terms, conditions and/or charges may apply. Contact your service provider for details.

All features, functionality, and other product specifications, as well as the information contained in this guide, are based upon the latest available information and believed to be accurate at the time of printing. Motorola reserves the right to change or modify any information or specifications without notice or obligation.

Caution: Motorola does not take responsibility for changes/ modification to the transceiver.

Product ID: MOTOROLA RAZR™ IS12M

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

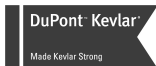
■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSD、microSDHCは、SDアソシエーションの商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
  iWnnはオムロン株式会社の登録商標です。
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 all rights reserved.
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、Motorola Mobility, Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

- モトローラ、MOTOROLA、MOTOROLA RAZR、モトローラのロゴマークは、Motorola Trademark Holdings, LLC.の登録商標です。
- Androidロボットは Googleが作成および共有する著作物を複製または修正したものであり、クリエイティブ・コモンズ3.0帰属ライセンスの条件に従って使用されています。
- Google、Googleロゴ、Google Maps、Android、Androidマーケット、Androidロゴは、Google Inc.の商標です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

- KEVLAR®は、Motorola Mobility, Inc.のライセンスの下で使用されるDuPontの登録商標です。

- Copyright (C) 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
  Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:Copyright © 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software:Copyright 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:**www.gracenote.com/corporate**

・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteと

して直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

© Gracenote, Inc. 2000-present

≪お客様各位≫

このたびは、MOTOROLA RAZR™ IS12M をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
IS12M 本体に同梱されている「セーフティガイド　第 1 版」におきまして誤記がございましたので、お詫びいたしますとともに、下記の通り訂正いたしましたことをご報告いたします。

該当箇所：11 ページ　表内「外装ケース（前面）」の表面処理

誤	正
塗装／ NCVM	塗装／ NCVM（シャドーブラック）、UV 塗装（グレイシアホワイト）

該当箇所：11 ページ　表内「外装ケース（側面）」の表面処理

誤	正
NCVM	NCVM（シャドーブラック）、UV 塗装（グレイシアホワイト）

該当箇所：11 ページ　表内「スロットカバー」の表面処理

誤	正
NCVM	NCVM（シャドーブラック）、UV 塗装（グレイシアホワイト）

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの**157**番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難・故障・操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール **0120-977-033**（沖縄を除く地域）
フリーコール **0120-977-699**（沖縄）

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

2012年2月第2版

発売元　KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
製造元　Motorola Mobility, Inc.

68016716002